

# 学校だより 熱 沙

＜発行＞  
令和5年2月2日  
発行責任者：校長  
和田 政男

## 中学部の体育で柔道の授業, G8 では建築家の授業

中学校の体育では武道が必修となっておりますが、海外の日本人学校では武道専門の先生がいない場合など、なかなか実施が難しいのが実情です。今回、ドバイの柔道場で柔道を教えている上林先生に外部講師としてご来校いただき、2時間にわたり柔道の初歩を中学部生徒に教えてくださいました。

1月31日には柔道着の着方や帯の締め方、受け身などを、2月2日には寝技を教わりました。

また、2月2日にはドバイで建築家として活躍している丸山様にご来校いただき、G8の外部講師として、予めお届けした生徒の質問に答え、ユニバーサルデザインについての講義をしてくれました。

これもコロナ感染予防対策の緩和から実現できたものです。子ども達の体験を増やしたいと思っております。

### 学校評価アンケート自由記述のまとめ その2

#### ＜学習＞

- 家では以前より意欲的になったり、目標を決めて取り組むという変化はほぼ見られませんが、タブレットやPCでの学習はゲーム感覚で楽しんでやっているようです。
- 勉強に対してあまりやる気が見えません。私からはなるべく干渉せず普通に言葉を掛けています。
- 学業にもっと厳しく管理した方が良い
- 先生方も色々工夫され、限られた授業数の中大変かと思えます。ありがとうございます。

→ **自主的に、意欲的に学習する子どもの姿。私が教師になって40年以上、変わらぬ永遠のテーマです。学校でも「探究力」「言語力」を身につけた理想の生徒像を思い描き、校内研究はじめ様々なところでアイデアを練り、努力を続けております。**

#### ＜おたより等＞

- 通信はとても愛情がこもっていて、毎回読むのが楽しみです。
- 先生が毎日 Teams で連絡をしてくれたり、毎週学校の様子を発信してくれたり、非常に熱心に取り組んでくれて、学校での様子もよく分かり、親としても安心して預けられ、有難く思っています。
- 先生は必要があるときに連絡すると、適時早急にご返答くださっています。また、生徒間の小さな出来事や、生徒の行動について先生の感じられたことを、週ごとの通信や、毎日の連絡に簡潔に記載してくださるのが良いと思います。
- 学習面だけでなく、友達との関わりの中での出来事においても適切に保護者に知らせていただき、家庭でも子どもの様子を更に注意深く見ることができたり、指導することが出来てありがたいです。



- 先生が毎日学級通信を送信してくれて、家族全員で勉強になり、大変興味深く拝見しています。

#### ＜道徳教育＞

- 道徳については、こちらから聞かないと話題にのぼらない上に、その回の学ぶべき内容が何であったかを言語化できておらず、題材に取り上げた話のあらすじを言うだけになっている。けれど、授業内で見聞きしたことを、本人の中では消化し、もしくは後々思い出せるように、積み重なっているといいなと思います。
- いつも大変お世話になっております、特に先生から受ける道徳的な教育に関しては本人も人の気持ちを汲んで行動することが以前と比べると進歩してきているのが何うことができても先生方々はじめ学校の教育方針に感謝申し上げます。

#### ＜教員の言葉遣い＞

- 子供から、「言葉遣い悪く、怖い言葉で怒っている先生がいる」と聞きました。子供達との接し方、見直していただきたいです。

→ **ご指摘いただいた事項、職員全員で共有いたします。「児童・生徒を小さな紳士・淑女と考えて接する」「〇〇さん」と呼び方を統一する、ということは職員で申し合わせているところです。**

(次号に続く)